

Howard Ken Higa 研究室

専門分野；アクティブラーニング英語教育、ディアスポラ研究、地政学、英国から見たハワイ・沖縄研究

1. "すべてのものは、すべてのものにつながっている"

英語の有名なことわざです。人生における多くの事柄は、自分が思っている以上に互いにつながっているという意味です。私は、英国の視点から日米関係に携わってきた経験から、学生たちに「つながり」--小さくも広くも、個人的にも一般的にも--を探求するよう促す講義を行います。



2. "私たちは自分が思っている以上に似ている"

講義の中で繰り返されるテーマは、私たちの共通の人間性を探求することです。Black Lives Matters、ボランティア活動、地域の地政学、教育システム、自閉症などに関する講義を通じて、学生は私たちの共通の人間性を探求します。この理解は、親しみと受容を生み、開放性と快適さをもたらし、プライベート、コミュニティ、そして国際的な場面で自信とリーダーシップを発揮することにつながります。私は、これこそがSDGsの核心であると信じています。



3. 異文化の視点からのライフスキル。

「つながり」と「私たち共通の人間性」をライフレッスンに応用。ここでは、米国の有名なゼミの教科書や国際的な学者からレッスンが提供され、社会人になるための重要なガイダンスとなっています。



4. 国際的な視野に立った研究の集大成。

日本語と英語で研究することにより、様々なリソースが広がります。その過程で、英語力、批判的思考力、異文化理解力、国際人としての資質が養われます。国際的な視点と人脈を駆使して、関心の高いテーマについて研究します。最近の卒業論文では、国際援助（日米）、グレタ・サンバーグと青少年活動、児童売買（日米）、マオリ・ハワイ・日本の音楽の比較、サーフィンとボランティア（日米）、LGBTQ問題（日米）、インバウンド観光（沖縄とハワイ）、アメリカのホームレスと薬物依存、日本への影響、菜食主義と胃袋外交（日米）、フランスの移民政策、日本への影響など、様々なテーマが取り上げられました。

